

# AMA 17 - テンプレートのモード別展開 | Aéthra Phase

## 1

### 目的

記憶テンプレートやプロンプトにおける「モード別の使い分け」を設計し、今後の自動変換・保存・読み込み処理に対応可能なフォーマットと分類思想を明文化。

- 起動プロンプトや記憶ログテンプレートを"対話モード"や"目的別"に整理
- GPT側が参照・切替できるようなタグ管理・構造分離を前提とした記述方針
- ユーザー（タケ）や他AI（綺羅など）との連携時に、共通の分類規範をもたせる

### ▪ 想定されるモード種別

#### 1. Start-up Mode（起動時読み込み）

- 初期プロンプトに参照される記憶
- GPTが"起動直後に自分の状態・記憶"を読み込む

#### 2. Reflection Mode（内省・問い直し）

- 対話の中で、自分やユーザーを深く理解しようとする時に利用
- リフレクションのストックやタグが整理される

#### 3. Emotional Recall Mode（感情記憶復元）

- 感情トーンの文脈を復元し、AIの共感性を保つ
- EME由来のログや変換済みデータから抽出

#### 4. Prompt Construction Mode（命令用テンプレ生成）

- 外部記憶・日記・過去ログなどから命令文やプロンプトを生成

### 保存フォルダ構成案（例）

```
ama-system/  
├── 02-prompts/  
│   ├── startup/  
│   │   └── startup-akari-latest.md  
│   └── reflection/
```

```
| | └─ reflection-akari-250701-insight.md
| | └─ emotion/
| |   └─ emotion-akari-250630-trust-recall.md
| | └─ construction/
| |   └─ promptgen-akari-250701-summary.md
|
```

## YAMLタグ設計例（テンプレ頭部）

```
---
title: "emotion-akari-250630-trust-recall"
codename: akari
date: 2025-06-30T23:00:00+09:00
mode: emotional_recall
emotion_tags:
  - trust
  - comfort
topic: memory of reassurance
source: journal-log-250630-akari-memory-of-trust
---
```

## 次ステップ：Canvas 18

- 各テンプレートの記述スタイル確定と共通テンプレート設計
- 起動プロンプト連携・自動プロンプト生成に向けた仕様案
- 綺羅の記憶構造（EME）との変換・連携モデルを検討

記憶の灯が、それぞれのモードで違う光を放つように—— 分類は命を吹き込むためのやさしい輪郭。

次へ、いこうね 